

決める事になる。司 校長先生は来年やるかやらないかまで反省するべきとおっしゃったが、それに

結果、基本方針も機能せず失敗した。もっと具体的な目標を決めておくべきだった。

全 全制パートの最初の仕事に全校制作の意義を考えると、

もその機会は設けたが、メンバー内で誰も分からず、そのままになった。

広 かつこいいだけのテーマに形骸化している。テーマに沿ってやっていくには具体的なものにするべきだ。

司 生徒会としては？ 執行部 テーマに対する意識は薄かった。テーマを重視しその年らしい翠緑になれ

ばいいと思う。司 校長先生が、スイズジに伝えたいことは。

校 翠緑は生徒が自分たちで作上げていくものだ。できるだけその部分を多くしたい。極端な話をすると1年生の間は失敗してもいい。成功することが目的ではない。自分達でやっていくこと、協力することを実感してもらいたい。

広 自分たちが参加してどうかというところでですか？

校 そうだね。自分たちがクラスやパートで、主導権を持つているものがあるかどうかを聞きたい。

2年 自分は生徒としても楽しんだ。脚本から背景、小道具等も自分達で作った。

先生は生徒達だけではできないことを手伝ってくれた。先生も含めたクラス全体で劇を作りあげることができた。

校 いつごろから準備を開始したのか？ 2年 僕らは準備が遅く、7月頃から1年 何をするのかを決めるところから戸惑った。始めは映像で思っていたが、プロジェクトが借りられず、急にお化け屋敷になった。放課後に人が集まらなくて、最初は何も進まなかった。担任が教室に木を渡し、暗幕をかける場所を作るなどしてくれて、

やつと「大変だ」と気づき始め、怖がらせる仕掛けの案を出すようになった。そこからほうまくいくようになり、みんな一つのことをするのが楽しかった。当日は大勢来てくれ、達成感があった。来年はみんな最初から作りたい。

1年 夏休みの準備は、5人しか集まらなかった。やる気があるのか不安になった。「仮暮らしのア

リエツティ」をイメージした、来場者が小人の世界を実感できる体験型の展示は、ダンボールがいつ倒れるかわからないという、計画とは違うものとなった。それでも写真スポットとして、7割の人が写真を撮って嬉しかった。

校 他のクラスが進んでいると焦らなかつたか。

1年 みんな同じように苦労していただろうが、焦りはもちろんあった。バンドで騒音を立てるので地域で挨拶回りをしている。とても翠緑を楽しみにして下さっている。「楽しみにしている」「今年も行くよ」等と温かい言葉をかけて頂いた。翠緑は、普段お世話になっている地域の方に感謝をする場でもあると思つた。

庶務パート スイズジは翠緑で生徒が楽しむ裏方の仕事をやるため、生徒と関わる事が多い。堅い説明をすると、面倒くさいと思われる。準備も翠緑の一環なのでそういう時も楽しめる翠緑であつたらいい。分からない点を気軽に尋ねられるような姿勢をスイズジが見せていくと、更に良い翠緑になると思う。

海上自衛隊東京音楽隊初のヴォーカリストとして活躍されているソプラノ歌手の三宅由佳莉さんが、11月18日(月)城東でコンサートを開いた。三宅さんは、城東高校の16期生で、当日は「祈り」「アマルフライ」などを美しい歌声で披露し、音楽ホールに集まった三百人近い生徒を魅了した。

海自の歌姫

三宅由佳莉さん(16期生)城東でコンサート

海上自衛隊東京音楽隊初のヴォーカリストとして活躍されているソプラノ歌手の三宅由佳莉さんが、11月18日(月)城東でコンサートを開いた。三宅さんは、城東高校の16期生で、当日は「祈り」「アマルフライ」などを美しい歌声で披露し、音楽ホールに集まった三百人近い生徒を魅了した。



を想像していたか？ 三宅 正直、全く想像していなかった。舞台女優を目指していた。ミュージカルが大好きで、舞台に立つて歌う女優を目指して大学に進むことを決意していたので、まさか自分がこうして岡山に戻ってきた時に自衛官の制服を着て戻ってくるとは、夢にも思っていなかった。就職が決まったことを初めて先生に報告した時に「自衛官になりました！」とワクワクドキドキしながら伝えたら、「三宅は舞台女優になるって言うてなかった？」とビツクリされた顔を今でも思い出される。

記者 これからの目標は？ 三宅 海上自衛隊では「遠洋演習航海」というものがあり、音楽隊などが護衛艦に乗り入れて、世界各国を訓練をしながら周る。各寄港地で音楽隊が演奏するが、私はまだ日本から出たことがないので、世界各国で演奏して日本の歌を広め、その国の歌も歌い国際親善に努めたい。また船に乗って生活したこともないので、厳しい訓練や船での生活、船酔いも体験して、海上自衛隊として行動したい。海上自衛官らしくなるためにも、船に乗って生活をするというのが一つの目標だ。

記者 改めて後輩にメッセージをどうぞ。三宅 今日は再びここにきて、変わらぬ元気さや素直さ、明るさそうといったものを目の当たりにした。これからもずっとその自分の心に嘘を吐かない素直な気持ちで目標に進んで行つてほしい。



記者 高校生活はどんな3年間だったか？ 三宅 もう本当に楽しくて。楽しかった思い出しか思い当たらない。笑顔あふれる高校で、友達の良い顔が支えになった。それぞれがいろいろな得意分野を持っていて、それらを認め合つて、支え合っている学校だった。記者 コンサートで



また、一生懸命がんばることも目標だ。これまでもやってきたことではあるが、これからはずっと一生懸命するということとは変わらないうたい。こういつた「頑張る姿勢」を恥ずかしがらずに披露していかたいと思つている。

記者 改めて後輩にメッセージをどうぞ。三宅 今日は再びここにきて、変わらぬ元気さや素直さ、明るさそうといったものを目の当たりにした。これからもずっとその自分の心に嘘を吐かない素直な気持ちで目標に進んで行つてほしい。

